

令和7年度 中学生一日体験入学実施計画

1 実施日 8月5日（火）・8月6日（水）

* 定員は体験設備の都合上、5日、6日ともに180名です

2 時間 9：00から12：00まで

3 場所 本校校舎

4 内容 1グループ30人程度で全科の実習体験と部活動紹介の校内ツアーに参加

(1) 実習体験（1科 約20分、計100分）

機械、電気、情報電子、建築、都市工学の5科を全て体験します

※ 詳しい内容は各科ごとの紹介ページをご覧ください

(2) 部活動紹介（約20分）

映像等を使い、部活の内容や活動の様子などを紹介します

(3) アンケート記入（Googleフォームを使用）

(4) 個別相談（解散後、希望者のみ）

管理職が個別に対応します

5 申し込み方法

URLまたは本校ホームページのQRコードからお申込みとなります。

お申込み期間は、6月4日（水）12：00から7月4日（金）12：00までとなります。

（お申込み期間中でも、定員に達し次第、締め切りとなります）

機械科

機械科の体験入学では、工場にある機械でどのようなものが作れるか、どんなことができるのかを紹介します。機械科3年生による説明を聞き、実際に機械が動いている様子を見ることができます。

機械科で、どのようなことを学ぶのか、よ〜く見ていってください。そして、機械を操作して何か造っている自分を想像してみてください。

① 旋盤

円筒形の材料（金属）を回転させ、所定の形状に加工します。



② 溶接

金属どうしをガスや電気力で溶かして接合します。



③ フライス盤

金属の平らな面を削り出したり、溝を加工したりします。



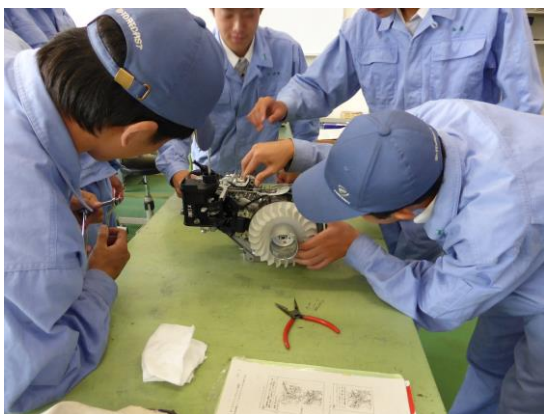
④ マシニングセンタ

プログラムにより自動で加工します。



⑤ エンジン分解組立

エンジンの仕組みと整備方法を学びます。



『ものをつくるのが好きな人』

『機械や車に興味がある人』

お待ちしております！！

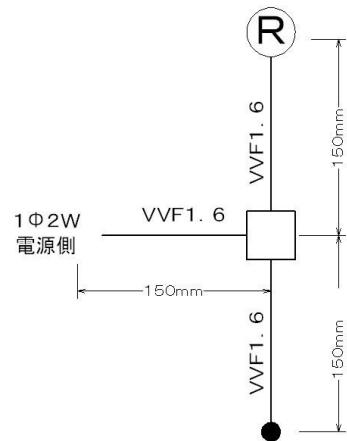
電気科

電気工事体験

一日体験入学では中学生の皆さんに、電気科の基礎的な実習である電気工事に挑戦してもらいます。

電気工事では専用の工具を使用します。

工具の使い方や接続方法を本校の生徒がていねいに説明します。



説明のあと体験を行います。短時間ではありますが、ていねいに作業を行います。

全員時間内に完成します。



電気科 電気工事体験

実験ボードで電気工事を体験しよう！

		
① ワイヤーストリッパの歯を調整します。	⑤ 電線の先端約1mmをワイヤーストリッパの小さい溝ではさみます。	⑨ VVFケーブルをスイッチボックスの穴に通します。
		
② VVFケーブルに引かれた線をワイヤーストリッパの溝ではさみます。	⑥ ワイヤーストリッパのハンドルを両手でカーブさせて、内装調整を調整します。	⑩ 電線を折り曲げて金属プレートで固定しましょう。
		
③ ワイヤーストリッパのハンドルを両手でカーブさせて、内装調整を調整します。	⑦ ワイヤーストリッパよりVVFケーブルをはずして、内装調整を調整します。	⑪ スイッチボックス内の電線を折り曲げて金属プレートで固定しましょう。
		
④ ワイヤーストリッパよりVVFケーブルをはずして、内装調整を調整します。	⑧ 電線の長い方をスイッチの穴に通し込みます。 ※電線が長すぎるとスイッチの蓋が閉まりません。	⑫ もうすぐ完成です 裏面へ！

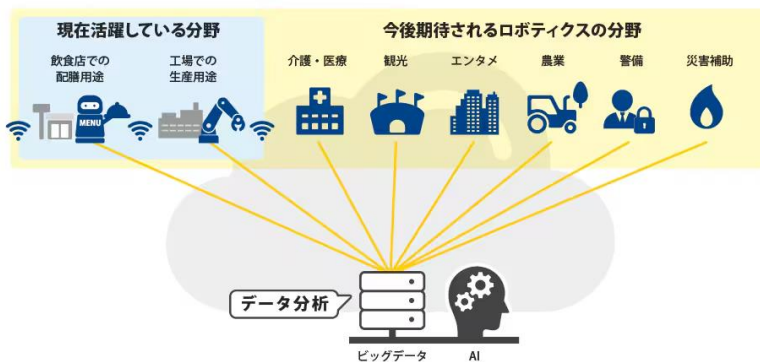
情報電子科

AI（人工知能）の急速な発展による産業用ロボットの進化や、さまざまなモノがインターネットでつながる環境（IoT=Internet of Things）が構成され、電子機器の遠隔操作など高度な電子制御技術が実現される時代になってきました。情報電子科では、ロボティクス技術へ対応した技術者を育て社会に役立つ人材育成を目指しています。今回一日体験入学では、情報電子科で学ぶ内容説明と設備の一部を紹介します。

※ロボティクスとは、ロボットのフレームや機構を設計する**機械工学**、ロボットに組み込んだモーターを動かす電気回路を制作する**電気・電子工学**、ロボットを制御するプログラムをつくる**情報工学**に関する研究を総合的に行うロボット工学のことです。

情報電子科では、この三つの分野の基礎を学習していきます。

多様な用途での活躍が期待されるロボティクス



ロボティクス概要図

(画像元 <https://www.ntt.com/bizon/glossary/j-r/robotics.html>)



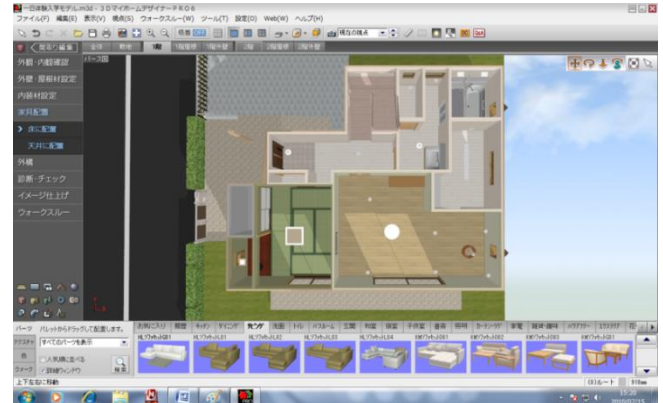
シーケンス制御実習

これからの社会では、各種ロボットがそれぞれ単独で動作するのではなく、ネットワークを介した総合的なシステムに属され人々の生活により密接に関係してきます。そのため、関係する技術者の需要がますます高まることが推測されます。

建築科

「家（建物）」を建てるには、設計士や大工など多くの人が関わっています。建築科では「快適な住まい」や「地震に強い建物」などを学習していきます。そこで一日体験入学では、中学生の皆さんに建物をコンピュータで設計する「3次元CAD」体験と「建築科の学習内容」を紹介します。

① 3次元CAD体験

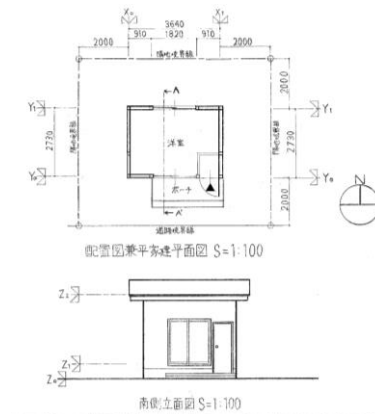


建物を設計するには「図面」を描く必要があります。その方法には、「手描き」と「CAD」による描き方があり、一日体験入学では、「マイホームデザイナー」というCADソフトを使用して、屋根や壁、家具の配置などの操作方法を体験します。

② 建築科の紹介



製図の授業風景



生徒の作品



木工作品



軸組模型

建築科の授業は、製図の他に木工（大工の基礎）や模型製作などの実習があります。



島田市役所に寄贈
新島田市役所模型製作



建築甲子園
(全国大会まであります。)



授業の様子

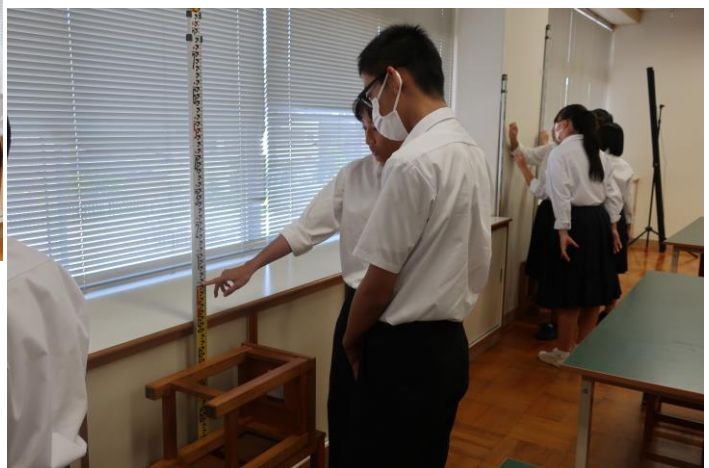
都市工学科

3D CADを体験しよう！

都市工学科ってなんだろう？知らなくたって問題ありません。都市工学科の学習内容とその様子を、本校の生徒が丁寧に説明します。説明のあとで「まちづくり」に欠かせない「測量」をするための機器の操作体験をしてもらいます。

体験内容

水準測量（地面の高さ）を測定します。
機器の使い方や測定値の読み方を体験します。



7. その他

- ・当日はスリッパ及び下足袋を御用意ください。
- ・中庭ピロティ（生徒昇降口）に受付を用意してあります。
受付を通過して御入場ください。
- ・駐車場が手狭な為、公共の交通機関を御利用ください。
- ・自転車でお越しの場合は、本校の駐輪場を御利用ください。
- ・最後にQRコードによるアンケートを実施致します。
スマートフォンまたはタブレットをお持ちのうえ、来校してください。
- ・荒天などにより延期あるいは中止となる場合は、本校公式サイト上にその旨を掲載します。
なお、延期する場合は、8月7日（木）になります。

